



発行
東区人権尊重啓発連絡会議
事務局：東区総務部
生涯学習推進課
(TEL645-1144)
(FAX645-1042)
題字 池見 裕道氏
挿絵 田村真知子氏

東区人権を考えるつどい

令和4年9月16日に東市民センターなみきホールにおいて、東区人権尊重啓発連絡会議主催による「東区人権を考えるつどい」(ちひろの人権コンサート)を開催しました。コンサートの中でちひろさんが語られた言葉を紹介します。

金子みすゞの代表作「私と小鳥と」との最後の2行、「鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。」私たちはみんな、違ってもいい。私たちがはみんな、違ってもいい。みんなが同じだったら、いをもつて生まれてきました。そしてその違いは、イコール「自分らしさ」とも言えます。周りとは違うという自分らしさは、実は周りの役に立つために与えられた宝物です。もしも、みんなが同じだったら、

助け合うことが出来ません。違いがあり、出来ること出来ないことが違うから、助け合うことが出来るのです。

人間という生き物は不思議なもので、「誰かの役に立った」と実感を得た時、何より大きな喜びを得る生き物です。自分が出来ることを、自分の周りの、大切な人のため、家族のため、地域のため、社会のために役立つように活かす。そして役に立つ喜びを得る。これが、「みんなちがって、みんないい生き方」なんです。



自分の違い、自分の弱さを世の助けになることに活かす。そして役に立つ喜びを得る。これが、「みんなちがって、みんないい生き方」なんです。

「人間以外の様々なものに眼差しを向けよう。そしてそこから学ぶことに感謝し、その世界で自分らしく役に立つ生き方をみつけよう。そうすると、そこから何より大きな喜びが返ってくるよ」と。自分らしく生きることが大きな喜びになるなんて、なんて素敵な生き方でしょうか。

コンサートでは、とどこどころに金子みすゞさんの詩に込められた思いなどを織り交ぜながらの心温まる歌声がホールに響きました。終了後のアンケートでは、「とても素晴らしい。涙が溢れて止まりませんでした。」等の感想をいただきました。

第51回 人権を尊重する市民の集い

「21世紀は人権の世紀になるか」Keep Your heart open 心の門戸を開こう
講師 数学者・大道芸人 ピーター・フランクルさん

昭和23(1948)年12月10日、「世界人権宣言」が採択されたことを受けて、わが国では毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定めています。福岡市では、この期間を「福岡市人権尊重週間」と定め、集中的な啓発活動を行っています。

その一環として、令和4年12月6日に東市民センターなみきホールにおいて、「第51回福岡市人権尊重週間人権を尊重する市民の集い」(主催/福岡市人権尊重行事推進委員会)が開催され、数学者・大道

芸人のピーター・フランクルさんが講演をされました。

ピーターさんは1953年にハンガリーで生まれました。生まれ育ったハンガリーでは共産主義に嫌気がさし、自由を求め26歳でフランスに亡命。その後も世界のさまざまな国に住んでみましたが、自分の肌にも合う日本に30年ほど前から定住されています。

福岡は日本で一番住みたい街の一つで、これまで200回以上訪れたそうです。

講演会は、ピーターさんのジャグリングの披露で始まりました。その後の講演では、世界百十カ国以上を旅した時の人権にまつわる体験談や、自分自身が幼少期に受けた差別体験などについて話されました。その中で差別が無くならないのは、差別の意識が親から子へ、子から孫へと引き継がれていくからだと言われました。

また日本人について、寛容さや喧嘩をしない、敵をつくらない、他の人種や文化を侮らなない国民性は素晴らしい、好感を持っていてとおっしゃいました。

最後に、「心の門戸を開き、新しい経験や文化などに出会い、そこから何かを学



活動団体紹介

東区子ども会育成連合会

会長 阿部 正剛

東区子ども会育成連合会は、昭和三十五年(1960)に福岡市子ども会育成会連絡協議会として発足以来、その活動は六十二年を数えております。当会は子どもたちの健全育成を目的とし、各校区の自主的な活動の支援や交流、また文化・スポーツ事業、ジュニアリーダーの育成等に取り組んでいます。

本年度は、ドッジボール大会やソフトボール大会、防災レクリエーションや文化祭等各種事業を三年ぶりに開催することができました。子どもたちのひたむきな姿を見るにつけ、開催して本当に良かったと思っております。来年度は参加校数が増えることを願っています。

そのような中、ドッジボール大会において、見事優勝を果たした香椎下原校区(写真)は、東区代表(香椎下原、香椎)として十月に開催された市大会においても見事優勝を果たしました。選手はじめチーム関係者皆さんに対し敬意を述べたいと思います。

一方、昨今の子どもの会状況は、少子化や核家族化等子どもや保護者を

取り巻く社会環境の変化も重なり、子ども会への入会数が年々減少し、運営に苦慮しているところ(東区の加入者数は十年前から約七千人減少)その対策は容易ではありませんが、魅力ある区子ども会のあり方、担当者等の負担軽減、各種行事の充実や各校区へのサポート等に引き続き取り組みたいと考えております。

最後に、今年度より会長を仰せつかりましたが、諸先輩方のこれまでの取り組みを継承しつつ、「すべては子どもたちのために」をモットーに、地域や行政等と連携し、子ども会の活性化を図っていきたく思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



和白中学校合同人権研修会

「児童労働について考える」

和白中学校 教頭 岩木 美詠子

合同人権研修会

6月12日は「児童労働撲滅世界デー」でした。そこで国連労働機関(ILO)と福岡市教育委員会との共催事業として和白中学校において人権学習を企画・実施することになりました。

本授業は、児童労働について地域のみなさんと一緒に考えていくために、三校区(和白・奈多・三苫)公民館と中学校をリモートでつなぎ実施しました。三校区区人尊協・PTA成人委員会・保護者など、約千二百名が参加する大規模なものとなりました。

授業の内容

児童労働とは、義務教育を受けられずに、大人と同様に働くこと、十八歳未満が最悪の形態の児童労働(例 人身取引、債務奴隷、子ども兵士、性的搾取など)に従事することなどをさします。

授業は二時間構成で行い、二時間を公開しました。

一時間目は、全校をリモートでつなぎ、児童労働に関するクイズやすこくをしながら児童労働の実態に迫りました。二時間目はゲストに、ILO 児童労働撤廃音楽イニシアチブ

まとめ

世界では約一億六千万人(世界の子ども十人に一人)の子どもが、児童労働に従事しています。



キャンペーンの日本代表である荻野目洋子さんを迎えました。前半は、生徒代表によるこれまでのSDGs学習報告と児童労働の現状について一時間目に学習した感想や質問を荻野目洋子さんに伝えるQ&Aを行いました。後半は、荻野目洋子さんが、なぜ児童労働撲滅キャンペーンに協力されるようになったのかなどのお話と荻野目洋子さん作詞作曲の弾き語り「宝石く愛のうた」の披露がありました。

【参考】

ILO駐日事務所HP
荻野目洋子さん児童労働反対キャンペーンソング、メイキング映像(YouTube)もご覧ください。

人権セミナー 子どもの人権尊重と地域の役割

「虐待防止に向けて今、私たちにできること」

講師 福岡県立大学人間社会学部 准教授 奥村 賢一さん

10月28日、なみきスクエアで人権セミナーを開催しました。

子どもの権利とは

令和3年度の虐待の児童相談所への相談件数は、20万件を超えています。しかしこれは発生件数ではなく、発見件数です。終戦後は、子どもは守られる存在ととらえられていましたが、改正された児童福祉法では、現在、児童は権利を有する存在ととらえられています。権利には4つの柱がありますがなかでも子どもが参加する権利が大切です。意

コロナ禍に翻弄される子育て家庭の実態

見表明権とも呼ばれ、私たちの立場では、子どもの声を聴くことです。

しかし「ヤングケアラー」という言葉が聞かれるように、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行う子どもも見受けられるようになってきています。家族のケアをしているのです。その結果、学校にあまり登校できなかつたり、行つてはいるが忘れ物が多かつたりして、集中できずに

子どもや保護者に寄り添うコミュニケーションとは

暴言を吐く子ども、自分を傷つける子ども、やつてはいけないことをよくやる子ども、依存の強い子ども、こんな子どもたちや保護者に応じた対応の仕方があります。

私たちは、「受容」「傾聴」「共感」という方法で評価を挟まず、共感的理解をすることが大切です。認めることで自己有用感が広がり、自尊心も

学業不振につながっています。コロナ禍ではさらに、ひとり親の世帯、特に母子家庭では平均年間収入が約半分となり、子どもの相対的貧困率は、過去30年上昇傾向にあります。

育つていきます。

ちよつとした声掛け、目配り、気配りや、子どもに寄り添うこと、何気ない日々のことも地域の方だからこそできることがあります。



人権尊重週間 東区の入選作品から

ポスター



中学1年生



中学2年生



中学3年生



小学3年生



小学5年生

人権標語

いじめなし みんなでつくる きずなの輪 小学5年生

作ろうよ いじめをなくし 仲間の輪 小学5年生

友達の こころのバリアは 破らない 小学6年生

個性とは 一人ずつ持つ 自分色 小学6年生

人の心は 十人十色 ひていしないでみとめよう 小学6年生

思い合う人の話と和の輪を広げ 一般